

# 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03) 3356-8217  
FAX.(03) 3356-8637  
発行責任者 渡辺孝一  
http://www.marrow.or.jp/  
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655

## 設立10周年 記念大会を開催へ 6月3日、早大・大隈講堂で

全国骨髄バンク推進連絡協議会は今、設立から10周年の節目を迎えました。これを記念して、全国の加盟団体の皆さんのご協力をいただきつつ、各種の10周年記念事業を計画しております。

さらに、全国協議会はこの5

月に、従来の任意団体から特定非営利活動法人(NPO)として、法人格を取得することになりました。つまり、10周年を迎えたこのとき、全国協議会はNPO法人として再出発することになりました。

10周年記念事業の最初を飾るイベントとして、来る6月3日に早稲田大学の大隈講堂において「設立10周年&NPO発足記念大会」を「骨髄バンク いま新たな一歩」と題して開催します。

この記念大会は、全体で三

部によって構成されています。

第一部は「記念式典」で、全国協議会10年のあゆみを振り返り、新たなスタートを切る歴史的な決意を行います。

第二部は「記念シンポジウム&講演会」です。大谷貴子副会長の司会により、現患者さん

と元患者さんたちとともに、患者さんの本音トークを行います。また、NHK手話キャスターの丸山浩路氏による「自分の存在が他の人の喜びにつながる、みんなが喜ぶ、みんなが喜ぶ」と題する講演があります。

さらに第三部は会場を大隈庭園のガーデンハウスに移しての「記念祝賀会」です。この祝賀会には会費制(4000円)のパティーで、全国協議会の加盟48団体の日本全国から集う骨髄バンクのボランティアが持ち寄る全国銘酒利き酒会など、盛りだくさんの内容です。

6月3日には、ぜひ東京早稲田にお集まり下さい。なお、翌4日には任意団体としての全国協議会の解散総会、そしてNPO法人としての全国協議会第一回総会が予定されています。

## 「保険適用は改善」 患者負担金解消を厚生省は無視 野村委員長に聞く



野村委員長に聞く

今年4月に健康保険の診療報酬点数が改定になりました。全国協議会は昨年「なくそう患者負担金」を合言葉に、骨髄液に保健点数をつけるための署名運動を展開しました。しかしながら、その成果は今回の改定には生かされていないようです。全国協議会の野村正満運営委員長に改定のポイントなどを聞きました。

野村「骨髄移植は手技料として2万1千点でしたが、千6百点上がりました。同様に骨髄採取術も千6百点上がりました。このアップ分は骨髄移植にはHLA検査が必要で、その費用を含むことを明記したことによるものです」

Q・アップ分はHLA検査費用ですか。

野村「そういう意味にとれますが、現実的な検査料金はほぼ同じ金額です。さらに、これは移植に際しての患者とドナーの検査費用で、骨髄バンクではドナー候補の数名のHLA検査料

## 記念誌「10年のあゆみ」を発行

全国協議会では、10周年記念事業の一環として、活動の歴史をまとめた記念誌「全国骨髄バンク推進連絡協議会 10年のあゆみ」を発行することになりました。この記念誌は、歴史を出来る限り詳細に記録することを主眼において編纂しており、年表や写真で全国協議会の活動を振り返っています。また、全国協議会が取り組んできた大

きな事業として、佐藤きち子患者支援基金、白血病フリーダイヤル、国際協力の3事業について紹介しています。もちろん、全国協議会の主幹をなす加盟団体のプロフィールもあらためて作成していただき、掲載しています。その他、趣意書、宣言や要望書なども、歴史を語る重要な資料として、できる限り掲載しています。

限られた時間の中、経験不足、準備不足などもあって、必ずしも納得のいくものに仕上がったとは言えませんが、間違いもあっても構いません。ご容赦頂ければ幸いです。

最後になりましたが、お忙しいところ、原稿を執筆して下さいました方に、御礼申し上げます。(四方田)

## 10周年記念事業・協賛のお願い

普及活動をして参ります。ドナー登録30万人達成を目指して、10周年の記念事業(全国リレー登録キャンペーン、医療講演会&相談会等)を全国的に展開していく予定です。

恒例の事業に加えての周年事業です。できるだけ多くの皆様から事業協賛金を募って、全国的な活動にしたいと思っております。

公的骨髄バンクの早期実現を目指して平成2年6月に13団体で設立した全国協議会は、今年、10周年の節目を迎えました。加盟団体も48団体に増え、一人でも多くの患者さんのいのちを救うことができるよう、全国のボランティアの皆さんと協力して、これからも骨髄バンクの

普及活動をして参ります。ドナー登録30万人達成を目指して、10周年の記念事業(全国リレー登録キャンペーン、医療講演会&相談会等)を全国的に展開していく予定です。

恒例の事業に加えての周年事業です。できるだけ多くの皆様から事業協賛金を募って、全国的な活動にしたいと思っております。

野村「このからも財団に払うことになりませんが、財団は保険で検査料が含まれているので、その費用を保険から支払ってもらうために、移植病院に請求しなければなりません。さらに、保険から払われる患者とドナー分は、患者さんが負担金として支払った検査費用を返還しなければなりません。この事務量は膨大なものです」

Q・臍帯血の保険適用はどうなりましたか。

野村「特定治療材料として、臍帯血そのものに点数がつくものとみられていましたが、それも見送りとなくなりました。臍帯血も

野村「完全に私たちの声は厚生省に無視されました。これから、何らかのかたちで新たな闘いに取り組まなければなりません。どのようなものとしていくのかは、じっくりと考えていきたいと思います」

## 願いは30万人のドナー登録!

好評発売中!

いのちのバトンリレー  
造血細胞バンクのいま

骨髄バンクなどの設立過程やボランティア活動の実態、そして骨髄移植をおこなった人たちがそれを取り巻く人たちの体験談を交えたドキュメント。随所に移植関連の解説があり、初心者にも理解できる内容。そして心温まる話がいっぱい詰まっています。東海村の臨界事故で被曝した患者の話題にもふれています。

■遠藤 允:著 ■四六判  
■定価:本体2,200円(税別)  
ISBN 4-89814-102-1

LOCUS●発行/ローカス●発売/角川書店●お問い合わせ:03-3837-1102

## 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

- 理事会・評議員会が開催され、財団の新年度事業計画・予算が成立!  
3月30日(木)、平成12年度事業計画・予算が原案どおり承認成立しました。国庫補助金は、主にコーディネイト活動件数の増加分として、昨年度より1億2千万円増額され、新年度約2億6千万円となりました。これを受け、新事業計画・予算は、  
1) ドナー登録者の大幅拡大、  
2) コーディネイト迅速化、  
3) 移植件数の大幅増加、  
4) 国際協力の推進  
などを旨とする内容となっています。また、事業を着実に進めていくための事務処理体制の整備、人員体制の充実が盛り込まれています。なお、調査研究として、患者相談、ドナー登録採血新手法、ドナー登録者の保持方法、などが新規項目として加わりました。
- コーディネイト期間、99年は30日短縮! 一層の迅速化に努力中です。  
移植患者が登録から移植までに要した日数の中央値は、98年は268日(約9カ月)でしたが、99年は、30日短縮され238日(約8カ月)となりました。各段階の日数は、  
1) 適合ドナーを得られてからドナー候補者の確認検査=3次検査までが14日、  
2) 確認検査から最終同意までが9日、  
3) 最終同意から移植までが5日、  
それぞれ短縮されています。短縮化の努力は日々続けられています。
- 99年度の移植例数は589例、前年度より107例増加しました。骨髄バンクを介した非血縁者移植例数は、ドナー登録者数の増加とコーディネイト体制の充実により着実に増加しており、97年度403例(前年度比11%増)、98年度482例(前年度比20%増)、99年度589例(前年度比22%増)と、この3年間で約200例と4割以上の増加を示しました。
- 自衛隊でドナー集団登録会を実施、全国の「職場型のモデルケース」に!  
3月27日~30日の4日間、陸上自衛隊駐屯地で、初のドナー集団登録会(キャンペーン登録会)が行われ223名の登録がありました。この取り組みは、自衛隊駐屯地からの申し出により、厚生省、日本赤十字社との協議に基づき実施されたものです。自衛隊としては初めての開催です。なお、今回特筆されるのは、開催事業所の診療所医療スタッフ(医師、看護士等)の協力を前提として、  
1) 事前にパンフレットを隊員に配付し、十分に理解された方々に、  
2) 職場の一室に集まってお話し、ビデオ放映と説明、

- 登録意思の確認を財団が行い、  
3) 診療所の医療スタッフによる採血を実施、  
4) 採血に必要な資材の提供と血液搬送は、骨髄データセンターのご協力をいただく形式です。
- ドナー登録拡大目指し、「キャンペーン登録会」実施要綱が改訂へ!  
現在のドナー登録者数は約12万7千人で、目標の30万人には遠い状況であり、目標達成には大きな努力と新たな取り組みが求められています。99年度の新規ドナー登録は1万8677名でしたが、年齢超過などによる取消し者数が5491名もあり、実質増加数はわずか1万3186名となりました。一方、日赤への今年度の国庫補助金は、ドナー登録者の大幅拡大を図るため、昨年度より2億7千万円増額され約6億5千万円となっています。そこで、ドナー登録数拡大策として、過去2年間、調査研究として行われた「土日・祝日におけるドナー登録説明会・登録受付」事業を、本格的な事業として推進し、ドナー登録拡大の大きな柱とすることとなりました。厚生省では、実施要綱の改訂について協議を行っております。改訂項目としては、  
1) 実施主体として、地方自治体による独自開催が可能とすること、

## 骨髄バンクNOW

- 2) 年間の実施回数の制限をなくすること。  
また、医療従事者の派遣協力と責任範囲、登録受付数(HLA検査数)の弾力化、——などを検討中です。
  - コーディネイト支援システム化、本格稼働に向けて構築中!  
平成11年度政府補正予算で、5億3千万円のコンピュータシステム化の国庫補助を決定いただき、現在、そのシステム構築が行われています。財団内部(中央・各地区)、さらに外部の関連機関とのリンケージを含め、統合したネットワーク形成により、コーディネイトの迅速化の有効な手段となるものです。コンピュータ化に伴い事務手続き変更や担当職員の教育、より良いシステムとするための検証と定着化が必要となります。システムの稼働により、大幅な迅速化が図られることが期待されます。
  - 日本骨髄バンクの現状(2000年3月末現在)
- |         | 3月    | 現在数     | 累計数     |
|---------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 1,395 | 127,540 | 147,954 |
| 患者登録者数  | 132   | 1,749   | 9,114   |
| 骨髄移植例数  | 58    | -       | 2,549   |
- 注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

### 心からのご寄付を ありがとうございました

3月21日～4月17日

村上順子	現金	3,240円
中野徹	現金	5,000円
八木茂	現金	3,000円
西田則子	現金	10,000円
荒竹ひとみ	現金	1,400円
高橋真知子	現金	3,520円
切明蹊	現金	20,000円
愛知県立名古屋西高等学校	現金	75,785円
佐藤有美子	現金	10,000円
イイザワユウゾウ	現金	3,000円
新美秋男	現金	10,000円
鈴木純子	現金	1,340円
日原勝也	現金	1,000円
原田浩	現金	320円
品川保弘	現金	3,678円
佐藤直哉	現金	1,000円

#### ●佐藤きち子患者支援基金

切明蹊	現金	20,000円
にいがた骨髄バンクを育てる会	現金	200,000円
戸沢さち	現金	5,000円
佐藤直哉	現金	1,000円
HLA帯広・チャリティーゴルフコンペ	現金	100,000円
HLA帯広	現金	120,000円
青木英子	現金	50,000円
日原勝也	現金	1,000円

#### ●あやちゃん基金

佐藤直哉	現金	1,000円
日原勝也	現金	1,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髄バンク推進連絡協議会



### 和歌山 すこやか・あんしん フェスタでPR

年度末も近づいた3月26日、

和歌山最大のイベントホールビックホールにおいて、「すこやか・あんしん」子育てフェスタが開催されました。この中の展示ブースで、県業務課の主導で、「和歌山骨髄献血の和を広げる会」「ひこばえ」が協力して、骨髄バンクのPRを行いました。タイムリングよく前日届いた骨髄バンクグッズも会場で大活躍で、ブースへ参加して下さった皆さんの胸では、ワッペンがちょっぴり輝いていました。隣は「和歌山県子供の難病家族会」のブース、ここでも午前



3月5日一志町農村環境改善センターで休日キャンペーン登録会が久居青年会議所のご協力で開催されました。この日登録者をして下さった方は何と73名。県内の登録会では、過去もつとも多いドナー登録者数となりました。近くには、清少納言ゆかりの日本三大名湯の一つ神原温泉と風力発電施設があり、全国的にも注目されている所で

今年も神奈川の会のメンバーが、毎年の楽しみにしている円覚寺でのサンクトフローリアンピアノ三重奏チャリティーコンサートが、桜が満開の4月8日に鎌倉円覚寺にて開催されました。当日の朝日新聞神奈川版で紹介記事になったせいか、会場は450人もの参加があり熱気があふれてました。今回大きく報道されたのは、会のメンバー同士がこの春結婚したいきざつにありませう。お二



### 三重 久居JCが協力し ドナー登録者が73名

(北山)

中に「凍った炎」の人形劇を上演、子供たちの大きな拍手が会場に響きました。また別の会場では、「さい帯血骨髄バンク・移植とは？」とのテーマで大阪府立母子保健センター小児科部長河野敬世先生の講演会が開かれました。熱心にメモを取る人、公演後の先生に相談をする人など、開催前の不安はいつの間にか消えていきました。昨年の福祉の町づくりフェスタ以来の大きなイベントを、楽しく有意義な一日とすることが出来ました。

### 神奈川 円覚寺コンサートと 結婚の宴

(佐竹)

たことがセレモニの司会者によりって告げられました。そしてその間、セレッソ大阪のサポーターをしていた頃の佳佳さんの写真が長居スタジオの大幅面に映し出されていきました。選手が各ポジションにつき、スタンドの観客も立ち上がり、佳佳さんの遺影を持ったご主人が大幅面に大きく映し出され、1分間の黙祷が捧げられました。そして、セレッソ大阪では、志半ばでお亡くなりになった佳佳さんの志を2000年も骨髄バンクキャンペーンを実施することを発表してくれました。

3月25日(土)長居スタジオで原田佳佳さんの追悼イベントが行われました。この日は風も強く寒い日でしたが、たくさんの方々が応援に来てくれ、ブースの設置、スタジアムへ横断幕の設置、ポスターの掲示、チャンスやピラの配布に協力していただき、賑やかなキャンペーンになりました。追悼イベントでは、サッカーのゲーム開始前の選手紹介の後にセレッソ大阪のサポーターである原田佳佳さんが亡くなられたことがセレモニの司会者によりって告げられました。そしてその間、セレッソ大阪のサポーターをしていた頃の佳佳さんの写真が長居スタジオの大幅面に映し出されていきました。

### 大阪 セレッソ大阪が 佳佳さん追悼 イベント

(中島)

当日は、やや風が強かったものの、お天気も良く、桜の花も3分前から5分咲きといった状態で、お花見に訪れる一般市民の方たちもいました。埼玉JCの全体大会開会式は、とても広い体育館に千人以上の人が集まって、10時から始まりました。その体育館の出口のところに、集団登録の受付を設け、埼玉連絡会会員が担当しました。またビデオでのオリエンテーションと質問への説明を、財団の職員が行ない、採決場所への案内はJCのメンバーが行ないました。開会式終了直後は、登録手続きに来られる方が多く用意した椅子が足りないという状態で、来られた方たちにはちょっと待ってもらおうという場面もありましたが、その後はおちついてスムーズに進み、開会式の後

### 埼玉 JC協力の朝霞 集団登録

(佐竹)

は、登録に訪れる人がまばらになりましたが、加須・入間JCのメンバーがイベント広場でリクルートをして、登録場所まで連れてきてくれました。午後2時を少し回ったところで、体育館で開会式が行なわれ、このときにもまわって登録してくる方がいて、登録者合計は41名になりました。今回の集団登録実現に向けて、事前の調整や交渉には大変な苦労があったと聞いています。一時は集団登録中止もやむ無しとまでいわれたそうですが、JCの皆さんの熱意が通じて、ようやく実現しました。朝から準備と登録呼び掛けに駆け回った、加須JCと入間JCのメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

黄色と黒のチカラ。  
肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。  
**J-リゲイン**  
●大人1日1回1本、J-リゲイン 100ml・194円  
価格はメーカー希望小売価格(本体価格)

健康志向のあなたに、癒しの海の贈り物  
バイオ飲料  
**ポイタン-U**  
1ケース(50ml×30本)単位で発売しております。  
※特許出願中  
＜販売先＞  
バイオヘルスケア株式会社  
〒270-0292 千葉県千葉市美浜区新堀1-1-1  
TEL:0120-810-771  
※一部店舗で販売しております。  
＜代理店＞  
宝通株式会社バイオ事業部門  
TEL:077-543-7208

本気で考えるなら  
この一本。  
Takara